

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 年 月 日

協議会名: 仙台市交通政策推進協議会

評価対象事業名: 利便増進計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】 (1)利便増進実施計画に関する調査分析 ①都心内エリアにおける路線バス運行効率化の検討 ②連節バスの導入に向けた基礎調査</p> <p>(2)協議会等の開催 協議会:1回分、公共交通ワーキング:8回分</p> <p>【結果概要】 ・仙台市地域公共交通計画で位置づけたバス幹線区間・バス準幹線区間の利便性向上に向け、都心内エリアの運行効率化の検討及び桜ヶ丘方面における連節バスの導入に向けた基礎調査を行った。 ・都心内エリアは過年度まで各方面のバスの運行本数や利用状況、需給バランスを分析してきた。令和6年度は再編による車両の取り回しや待機場所の確保、他系統・郊外路線等への影響を検証した。 ・連節バスの導入に向けた基礎調査は道路構造等の確認や交通シミュレーションに必要な交通量調査を実施した。 ・3回開催された協議会のうち、1回分について利便増進実施計画に向けた資料作成等を行った。 ・7回開催された公共交通ワーキングのうち、4回分について利便増進実施計画に向けた資料作成等を行った。</p> <p>【今後、取り組む内容】 ・利便増進実施計画に関する調査分析 ・協議会等の開催 公共交通ワーキング4回分</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。</p>	<p>今後、仙台市地域公共交通計画に位置づけた個別施策の「バス幹線区間・バス準幹線区間における利便性向上策の実施」について、事業者等との同意のもと、利用者の利便の増進に資する具体的な取組内容を定める「仙台市地域公共交通利便増進実施計画」を変更する予定である。</p>

地域の概要

1. 基礎データ

仙台市
人口：1,061,450人
(R6.4.1現在・住民基本台帳)
面積：786.35 平方キロメートル
過疎地域等指定：山村(旧秋保村、旧広瀬村、旧大沢村、旧根白石村)
高齢化率：25.20%(R6.4.1)
協議会開催数：3回、公共交通ワーキング開催数：7回
(R6.4 ~ R6.12)

2. 公共交通の概況(R6.4.1)

【乗合バス】

路線バス
運行：仙台市交通局、宮城交通(株)、愛子観光バス(株)、(株)タケヤ交通
路線：90路線

【鉄道】

運行：東日本旅客鉄道(株)
路線：4路線

【地下鉄】

運行：仙台市交通局
路線：2路線

【タクシー】

運行：タクシー事業者47社
エリア：仙台地区
【乗合タクシー】
運行：(有)高砂タクシー、KM仙台タクシー(株)、(有)秋保交通、相互タクシー(株)

エリア：宮城野区燕沢地区、太白区坪沼地区、秋保地区、生出地区、青葉区新川地区

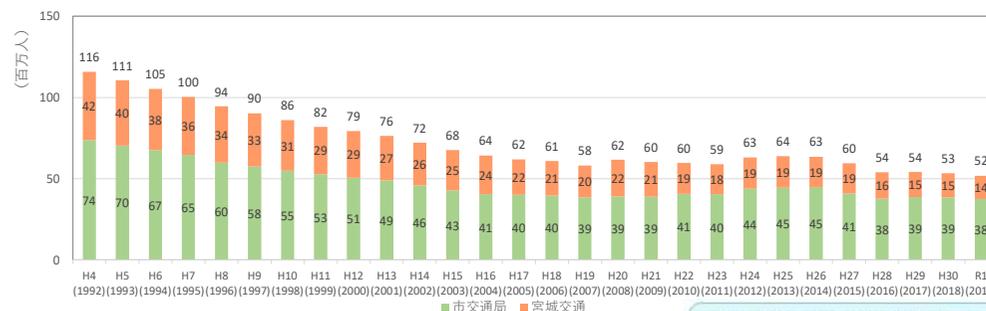
【フェリー】

運行：太平洋フェリー(株)
路線：2路線

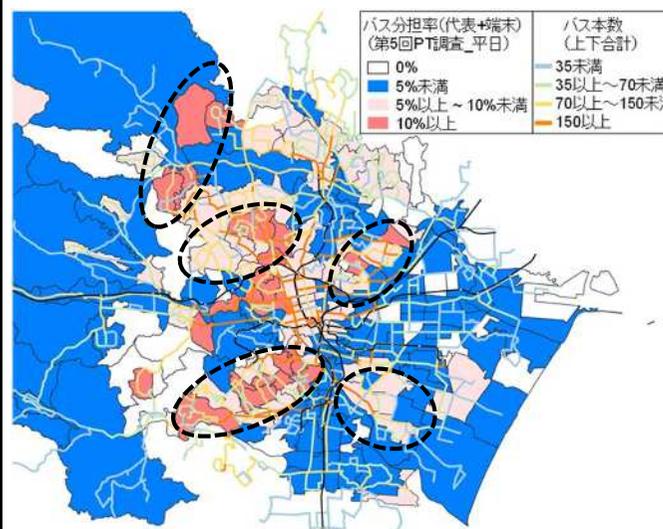
バス事業においては、長期にわたる乗車人員の減少傾向から厳しい経営状況が続いているが、公共交通を中心とした交通体系は、都市の基盤として、広域的な交流・連携や、通勤・通学・通院などの日常生活における移動を支え続ける必要があり、公共交通機関の安定運行や地域主体の移動手段の確保等に向けて、安定的・効率的な公共交通体系の構築が喫緊の課題である。

3. 公共交通の問題点

- ① 人口は近い将来にピークを迎えた後、緩やかに減少し、高齢化が今後も進む見込みであり、人口減少に伴う公共交通の利用者の減少・高齢化による移動制約者の増加が懸念される。
- ② 鉄道利用は増加傾向にあるが、路線バスは長期間の乗車人員の減少傾向から経営状況が厳しい。
- ③ バスの分担率は4%程度だが、鉄道・地下鉄沿線から外れた地域ではバスの分担率が比較的高い。
- ④ 大型二種免許保有者の減少により、バス運転手の確保が困難さを増すことに加え、バス車載機やバス営業所建物等、施設設備の更新に多額の費用が必要となる。
- ⑤ 都心部では歩行者が仙台駅周辺に集中し、都心内での回遊性が低くなっており、公共交通等による都心の回遊性強化が求められる。



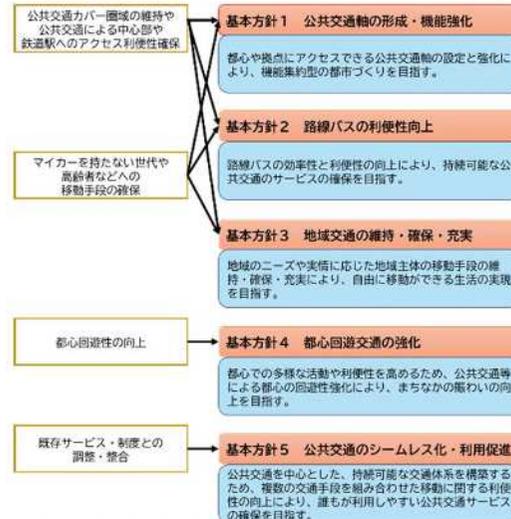
【バス乗車人員の推移】



【地域別バス分担率(平日・代表+端末)(2015)】

市民との協働により、地域の実情に合った、誰もが利用しやすい質の高い公共交通を持続的に確保し、自由に移動ができる生活の実現とまちなかの賑わい向上をめざします。

【課題】



【公共交通に関する目標と基本方針】

事業内容

【事業評価時点で完了している内容】

(1) 利便増進実施計画に関する調査分析

- ① 都心内エリアにおける路線バス運行効率化の検討
- ② 連節バスの導入に向けた基礎調査

(2) 協議会等の開催

【今後予定している内容】

- ・ 都心内エリアにおける路線バス運行効率化の検討
- ・ 連節バスの導入に向けた基礎調査
- ・ 公共交通ワーキング資料作成等

今後の取組みについて

【今後のスケジュール(予定)】

- ・ 1月中旬 公共交通ワーキング
- ・ 2月上旬 公共交通ワーキング
- ・ 3月中旬 公共交通ワーキング
- ・ 3月下旬 第4回協議会

【地域の公共交通の目指す姿】

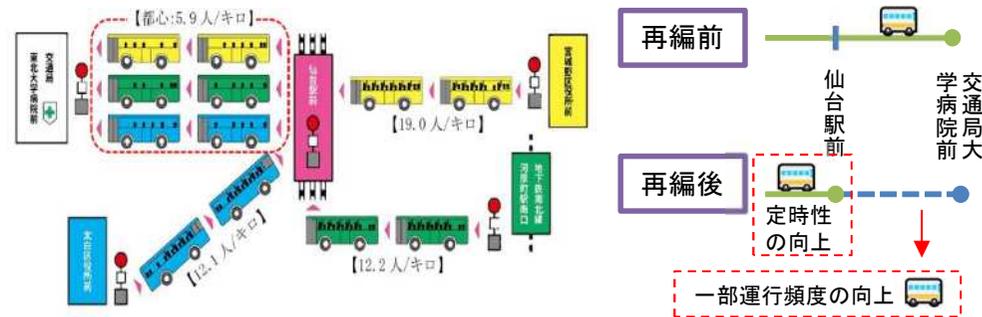
仙台市地域公共交通計画に位置づけられた各施策のうち、より具体的な取組内容について、事業者等との同意のもと、利便性向上と運行効率化を図り、持続可能な移動手段を目的とした「仙台市地域公共交通利便増進実施計画」の変更に向けた検討を行う。

事業実施概要

(1) 利便増進実施計画の策定に向けた調査分析

① 都心内エリアにおける路線バス運行効率化の検討

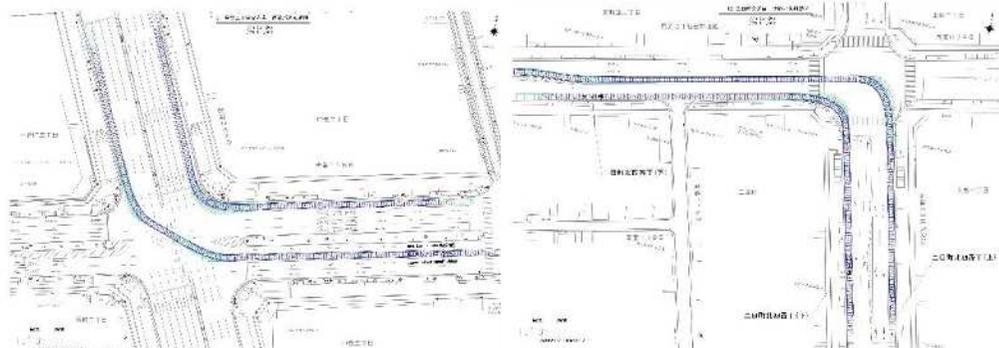
- ・ 過年度までに都心内を運行する各方面の利用状況及び需給バランスの分析を実施。今回、都心内エリアの路線再編による車両の取り回しや待機場所の確保の検討、他系統・郊外路線等への影響を検証した。
- ・ **事業内容**: 都心内エリアにおける運行効率化・利便性向上につながる路線再編(仙台駅止め等)の検討や仙台駅西口バスターミナルの待機台数の把握
- ・ **実施主体**: 仙台市交通局、宮城交通株式会社



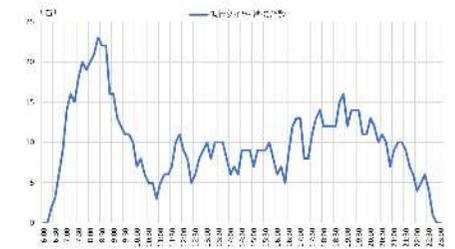
都心内路線バスの現状

② 連節バスの導入に向けた基礎調査

- ・ 大量輸送が可能となり、バスの運転士不足にも資する連節バスの導入に向けた基礎調査を実施。運行ルートにおける道路構造等の確認やバスレーンやPTPSの検討に必要な交通シミュレーションの基礎データとなる交通量調査等を実施した。
- ・ **事業内容**: 複数の運行ルート(案)における道路構造等の調査や、連節バスが交差点を走行する際の車両軌跡の検証を行った。また、交通シミュレーションの基礎データとなる交通量調査を実施した。
- ・ **実施主体**: 宮城交通株式会社



連節バスの運行を仮定した車両軌跡の検証



※仙台市交通局のみ

仙台駅前待機台数の推移
(現行ダイヤ)



連節バスのイメージ